

あおしんが応援する “美しい多摩川フォーラム”

あおしんは、地域の活性化と自立を目指し、平成19年7月、官民により設立された「美しい多摩川フォーラム」(事務局は当金庫)の地域づくり運動を応援しています。この運動の柱となっている「経済・環境・教育文化」の3つの観点からボランティア活動に積極的に参加し、持続可能な地域社会の実現に努めています。特に昨年秋には、春のイベントである“多摩川夢の桜街道”の交流人口促進スキームを活かし、“多摩川酒蔵街道”を立案・公表しました。





美しい多摩川フォーラムの活動

環境

多摩川一斉水質調査



平成26年6月22日、「地球環境問題への取り組みは、身近な水辺の実態認識から」という考え方のもと、「第7回多摩川一斉水質調査」を実施。調査結果を水質マップとして公表しました。

美しい多摩川クリーンキャンペーン



「第6回美しい多摩川クリーンキャンペーン」として、当金庫を含む25団体が連携して多摩川の清掃活動を実施しました。毎年11月を「美しい多摩川クリーンキャンペーン月間」と位置づけ、拡大していく予定です。

多摩川“水”大学講座



平成26年11月21日、第3回多摩川“水”大学講座(全6回・5月～11月)が開催されました。この講座は「水環境のリーダー」の養成を目指して開催されました。

経済

多摩川夢の桜街道 ～桜の札所・八十八カ所巡り



多摩地域の活性化を目的に、平成26年4月4日、JR東日本・西武鉄道・多摩モノレールとの共催で、桜の札所・八十八カ所を巡る「駅からハイキング～多摩川夢の桜街道と東京の造り酒屋をめぐる」桜ウォーキング大会を開催し、職員がコースの要所要所でご案内しました。

東北・夢の桜街道「桜の語り会」



東北復興支援を目的に、平成26年5月1日、東北・夢の桜街道推進協議会(事務局は当金庫)との共催で、岩手県の盛岡市民文化ホールにて、語り部・平野啓子さんによる「第3回“美しき桜心の物語”の語り会」を開催しました。

多摩川酒蔵街道



“美しい多摩づくり運動”の秋のシンボル事業として、西多摩地域に点在する5つの酒蔵を紹介するとともに、秋の紅葉や温泉を満喫しながら巡る旅を、“多摩川酒蔵街道”と名付け、平成26年9月5日に公表いたしました。

教育文化

炭焼き体験と水辺の交流会



平成26年8月22日、青梅市御岳の多摩川の川原にて、「第6回炭焼き体験と水辺の交流会」を開催しました。子どもたちが竹炭づくりや魚のつかみどりに挑戦したほか、ライフジャケットを身に着けた「水辺の安全学習」も実施されました。

多摩川子ども環境シンポジウム



平成26年12月6日、フォレスト・イン昭和館(昭島市)にて、多摩川流域の子どもたちが“多摩川”をテーマにした環境・文化・歴史などを発表する「第7回多摩川子ども環境シンポジウム」を開催し、発表内容を「みんなの発表誌」にまとめました。

「多摩の物語」の語り会



平成27年3月4日、羽村市生涯学習センター(ゆとろぎ)にて、語り部・平野啓子さんとそのお弟子さんたちが、多摩川流域の各地域に伝わる“いわれ”や昔話を掘り起こし、その土地を訪れて出会った素敵なお話や文化を「多摩の物語」としてまとめ、語り会を開催しました。



東北・夢の桜街道運動

あおしんが応援する美しい多摩川フォーラム



「東北・夢の桜街道運動」は、日本で最も愛されている“桜”を東北復興のシンボルに掲げ、「桜の札所・八十八ヶ所」として選定された東北6県の桜の名所を、東北復興への祈りを捧げながら巡るという観光スキームで、これを民間主導の官民広域連携・協働推進の運動として盛り上げ、「交流人口の増加」という形で、被災地である東北の面的再生を目指す取り組みです。東北・夢の桜街道推進協議会(事務局は当金庫)では、「旅で支える東北」の考えのもと、支援する側と支援される側の双方向の相互扶助が、地域の復興再生を実現し、東北の「持続可能な地域社会への変革」に繋がると考えます。金融業界から当運動のメンバーとなっているのは、信用金庫業界のみ(全国の全267金庫の全営業店で「東北・夢の桜街道」のPRポスターを掲示)であり、地元の信用金庫の活動に対する注目度も高く、担うべき役割は大変大きなものとなっています。

全国ベースでの「信金発!地域発見フェア」に出展協力

平成26年11月12日~13日、東京ドームにおいて、一般社団法人東京都信用金庫協会が事務局を務める「信金発!地域発見フェア」が開催され、当協議会事務局では、桜の札所の大型パネルを多数出展したほか、「桜の札所のスタンプラリー」や「東北の子どもたちによる桜の絵画展」(東北の信金主催の“桜の絵画展”に出品された作品)の開催に協力しました。

